

コーチング研修

1.研修の目的

部下の存在を認め、能力・可能性・やる気・行動を引き出していくためのコーチングの技法を学ぶ。

2.研修内容

対象者：管理・監督者

	内 容
9:00	1. できるリーダーとできないリーダーのコミュニケーションの取り方を比較する 1) 出来るリーダーと出来ないリーダーのコミュニケーションの取り方の違い
	2. 部下育成のためのコーチング 1) 部下にとってリーダーはコーチたるべき 2) コーチングとは 3) コーチングとティーチングを使い分ける
12:00	3. コーチングの聴くスキル 1) 反復・要約のスキル 2) 否定せず受容する 3) 共感のスキル
13:00	4. 質問力を強化する 1) 質問の有効性 2) 質問のさまざまなスキル <ul style="list-style-type: none">● チャンクダウン(物事を具体化する)● メタモデル(真意を引き出す)● スケーリング(主観的評価でレベルを判断する)● デイソシエーション(客観的、第三者的に発想し、アイデアを引き出す)● 比較質問(比較して本質を探る)● ビジュアライゼーション(絵を描き、情景を明確にする) 3) やってはいけない質問
	5. 部下の問題解決を促すコーチング 1) 部下から相談を受けた場合に取るべきコーチングを学ぶ
	6. 研修の振り返り&今後の行動宣言 1) 本日の研修を振り返り、今後どんなことに取り組んでいくのかを決める 2) それを継続して取り組んでいける仕組みも考える
16:30	7. 講師講評